

様式(細則 5-2)

令和 元 年 5 月 29 日

浜田市議会議長 川神 裕司 様

議員名 西 川 真 午



調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため（視察・研修）を（実施・受講）したので、その結果を報告します。

記

1. 期 間
令和 元 年 5 月 20 日 （月） 11 : 00 から
令和 元 年 5 月 21 日 （火） 14 : 25 まで
2. 視察・研修内容
市町村議会議員研修 住民とのコミュニケーション
～対話と発信力の向上～
3. 視察先又は研修先
全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）
4. 調査経費
26,160 円
(経費内訳 研修費 7,300 円、振込手数料 540 円
交通費 高速バス 11,200 円
JR 往路 240 円
JR 復路 240 円
ガソリン代 1,740 円
宿泊費 4,900 円)



5. 調査研究活動の概要

(1) 講義

- ・テーマ：住民とのコミュニケーション I
- ・講師：京都造形芸術大学副学長 本間 正人
- ・内容：① コミュニケーションの3つの機能
② 言語コミュニケーションのポイント
③ コーチングの基本の考え方
④ 傾聴のスキル
⑤ 質問のスキル
⑥ 承認のスキル
⑦ アイデンティティ・ポートフォリオ

(2) 講義

- ・テーマ：住民とのコミュニケーション II
- ・講師：東京外国語大学 非常勤講師 市瀬 博基
- ・内容：① ダイアログの構造を知る
② 対話で変化を生み出す
③ 対話を活かして情報発信する
④ メッセージをフラッシュアップする

6. 所 感

議員活動で最も重要なことは、住民の声を聴きそれを政策に反映させることである。すべての住民はそれぞれ政治に関わる課題を抱えているはずであるが、その課題の政治との関連を認識していない場合も多く、政治によって自らの生活が改善するとは思っていない方も多い。議員は住民と直接関わり対話することによって、住民の声を聴き施策に反映させ、また住民に施策等を的確に伝えることを繰り返すことにより、住民の政治参加の意識を高めていくことが必要である。今回の研修では、住民とのコミュニケーションの手法を実践トレーニングを交えて学ぶことができ、今後の議員活動に大いに役立つものとなった。今回の研修の成果を、特に「傾聴」と「情報発信」に取り入れ、議員活動の質を向上させていきたい。

受講証明書

団 体 名 : 島根県 浜田市

所属・氏名 : 浜田市議会 議員 西川 真午

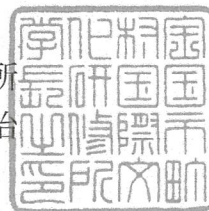
研 修 名 : 令和元年度市町村議会議員研修 [2日間コース]
「住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～」

期 間 : 令和元年5月20日 (月) ～ 5月21日 (火)

上記の研修を受講したことを証明します。

令和元年5月21日

全国市町村国際文化研修所
学 長 池 田 憲 治



令和元年度市町村議会議員研修「2日間コース」住民とのコミュニケーション～対話と発信力の向上～

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)
5/20	月	自由席 昨日と異なる席に。 お知り合いとは、 離れた席で。		【講義・演習】 住民とのコミュニケーションII 東京外国語大学 非常勤講師 市瀬 博基			
5/21	火	【講義・演習】 住民とのコミュニケーションII		座席指定 11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講式・ 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション 京都造形芸術大学副学長 特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 本間 正人 3F 大教室 1 17:30- 交流会 1F 大食堂			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

(令和元年5月20日現在)

名札の色：白色、研修担当：谷口、大郷